
平成17年度中間決算説明資料



RESONA

平成17年12月1日

 **リそなホールディングス**

CONTENTS

1. 平成17年度中間決算ハイライト
2. 平成17年9月中間期の損益等の概要
3. 単体合算利益剰余金の状況
4. 自己資本比率の状況
5. 貸出金の状況
6. 開示不良債権・与信費用等の状況
7. 強みを活かすビジネス分野
8. 平成18年3月期の業績予想

【ご参考資料】

9. 有価証券の状況
 10. 保有株式 業種別ポートフォリオ(りそな銀行)
 11. 債務者区分間の遷移状況(りそな銀行)
 12. オフバランス化の実績(4行合算)
-

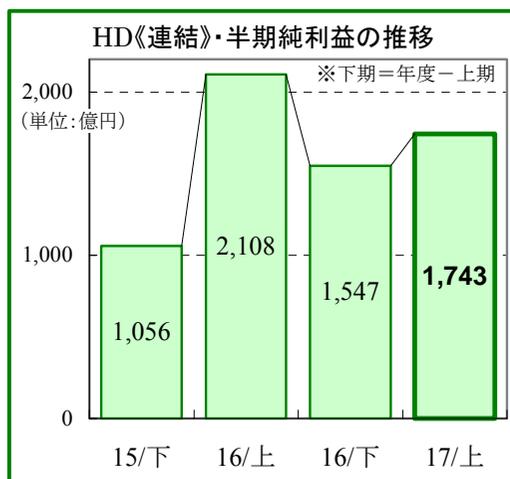
平成17年度中間決算ハイライト

- HD連結中間純利益は1,743億円を計上** ※17年5月公表
 - 前年同期比で減益乍ら、期初予想※比+643億円の増益
 - 非金利収益(信託報酬+役務等)は着実に伸長
17/9月期:849億円(前年同期比+103億円)
- 期末合算剰余金は健全化計画比+約1,800億円見込**
 - 健全化計画に対して、16年度の+1,000億円上ブレ実績に加えて、17年度は+約800億円の積増しを見込む
- 市場調達の本格化、公的資金の返済を開始**
 - 17年9月:永久劣後8億ユーロ、13億ドル調達
⇒10月3日迄に公的資金の劣後債務を2,000億円返済
 - 17年7月:優先出資証券11.5億ドル調達
⇒11月18日に優先出資証券2,642億円を期限前償還
- HD連結貸出金は3月比+236億円の増加へ反転**
 - 埼玉りそな+1,432億円、近畿大阪(単体)+92億円
⇒りそな(単体)△2,050億円
(旧再生勘定△約1,300、HD向け貸出△約700)

【資産】	
貸出金	
貸出金残高(HD連結) 25.33兆円	3月末比 +0.02兆円
住宅ローン残高(銀行合算) 10.35兆円	3月末比(実質) +0.30兆円
不良債権比率(銀行合算) 3.02%	3月末比 △0.37%
その他有価証券の評価差額(HD連結)	
株式: +2,941億円	3月末比+603億円
債券: △184億円	3月末比△335億円
繰延税金資産(HD連結)	
資産純額: 59億円	3月末比△396億円
Tier I 比率: 0.4%	3月末比△3.3%

【負債】	
個人向け預金・投資商品(銀行合算)	
投資商品残高: 2.16兆円 投資商品÷預金: 10.9%	3月末比 +0.44兆円 +2.2%
公的資金の劣後債務(HD連結)	
9月30日返済 1,000億円	10月3日返済 1,000億円
【資本など】	
優先出資証券(HD連結)	
7月25日(払込) 11.5億ドル調達	11月18日 2,642億円償還
自己資本比率(HD連結)	
[速報値] 10.20%	3月末比 +0.46%

BIS自己資本



(単位:億円)	HD(連結) (17年5月公表)		
	【17/9実績】	16/9期比	期初予想比
経常収益	5,067	262	+367
経常利益	1,798	686	+598
中間純利益	1,743	365	+643

(単位:億円)	HD(単体) (17年5月公表)		
	【17/9実績】	16/9期比	期初予想比
営業収益	2,228	+1,966	+28
(受取配当金)	(2,172)	(+1,966)	
中間純利益	2,134	+2,083	+34

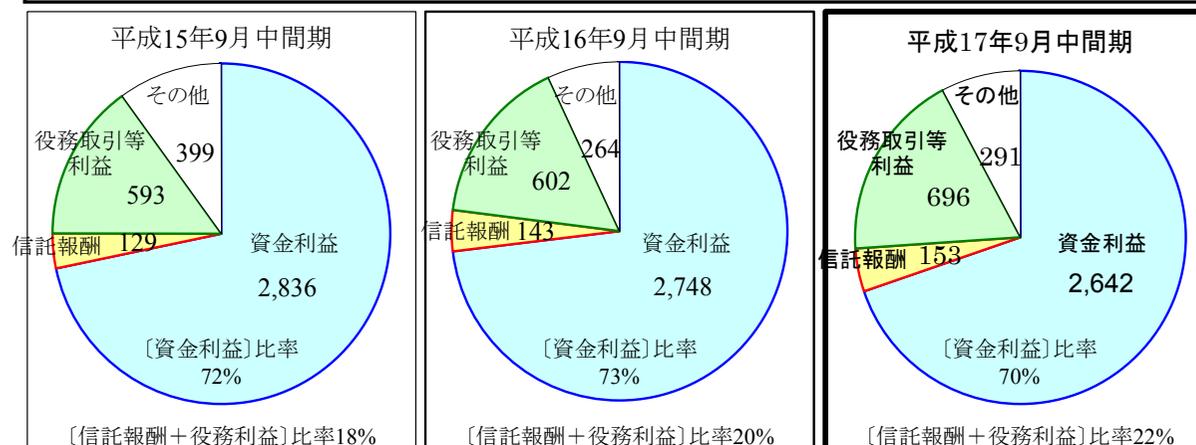
(単位:億円)	銀行合算		りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	りそな信託
	【17/9実績】	16/9期比					
実勢業務純益	1,790	117	1,217	348	164	3	56
経費率(信託勘定処理考慮)	47.8%	+1.2%	46.5%	48.4%	53.5%	78.8%	46.6%
税引“前”中間純利益	1,957	165	1,405	302	195	2	57

平成17年9月中間期の損益等の概要

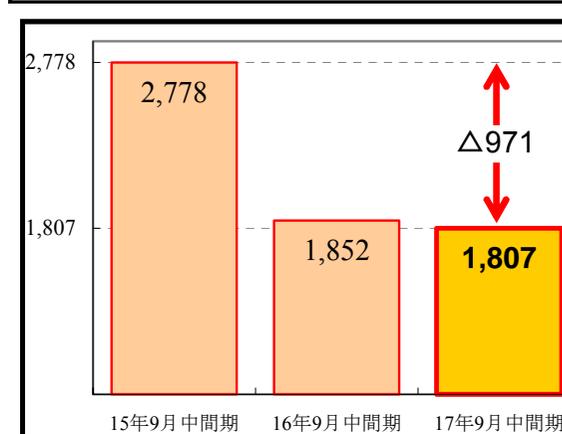
(単位:億円)

	HD《連結》		連単差 ①-②	傘下銀行		うち				連単差①-②の 内訳など 〔概数〕
	①	16/9期比		単体合算 ②	16/9期比	りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	りそな信託	
粗利益〔連結/業務〕	3,783	+24	+350	3,433	133	2,278	676	353	106	
資金利益	2,642	105	+96	2,545	254	1,667	562	299	0	カード50、資本性利払消去、他
信託報酬	153	+9	—	153	+9	39	—	—	114	
役務取引等利益	696	+94	+252	444	+84	315	105	30	8	保証150、カード70、決済10、他
その他業務粗利益	291	+26	+1	289	+26	256	8	23	—	
“営業”経費(△)	1,807	44	+109	1,697	46	1,105	334	193	49	カード75、保証・決済20、他
株式関係損益	258	134	31	289	4	285	3	0	—	売却益消去△60、キャピタル15、他
与信費用総額(△)	219	+281	+100	118	+296	98	48	35	—	保証70、カード30、他
その他損益	21	+169	30	51	+221	44	4	0	0	連結調整勘定償却△35、他
税引“前”中間純利益	2,036	177	+78	1,957	165	1,405	302	195	57	
税金費用ほか(△)	293	+187	+77	216	+141	48	149	5	23	少数株主利益78、他
税引後中間純利益	1,743	365	+1	1,741	307	1,356	152	201	33	

HD《連結》・粗利益の推移

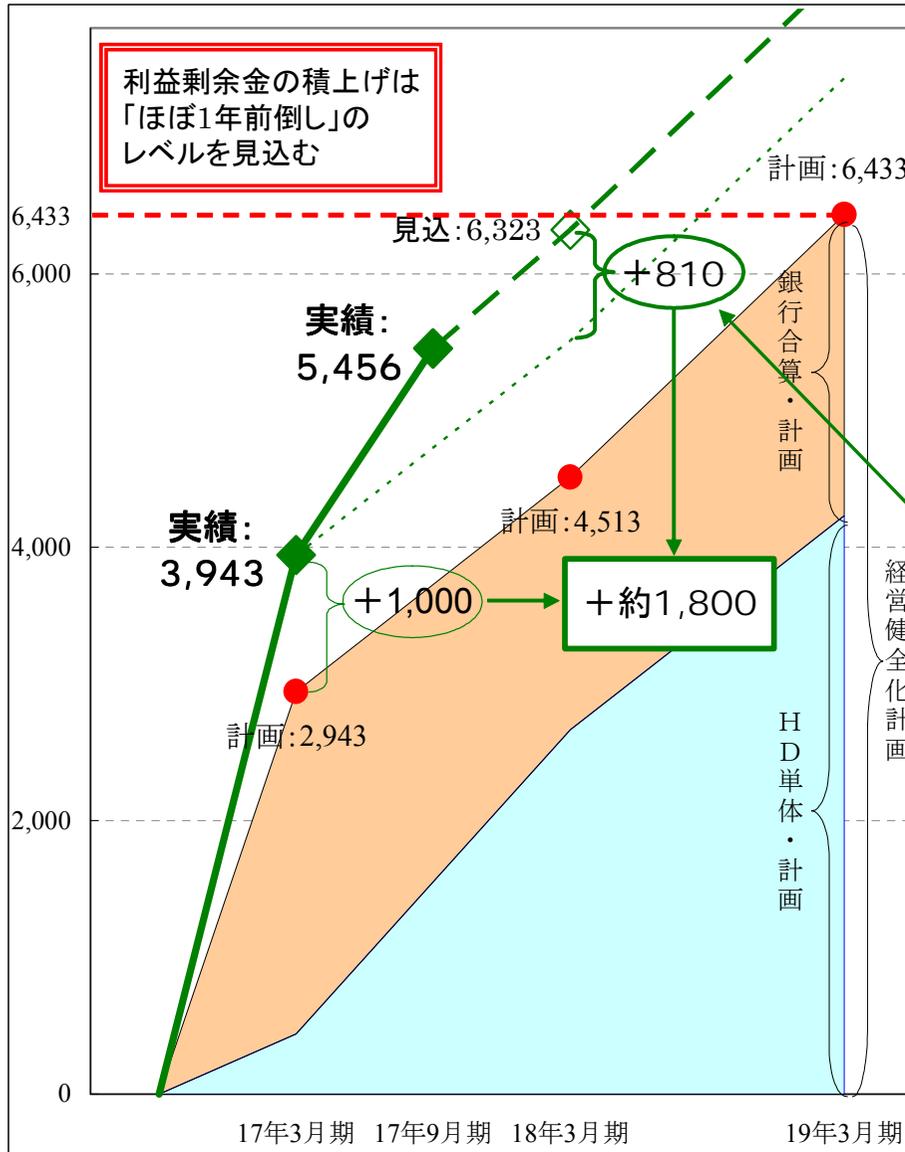


HD《連結》・営業経費の推移



単体合算利益剰余金の状況

(単位: 億円)



〔銀行合算〕17年9月期実績と期初予想(17年5月公表)との差異

	期初予想 1,100	実績 1,741
中間純利益	1,100	+641
業務粗利益		+163
経費		+158
与信費用総額		+252
その他損益		+68

17年度末の単体合算(HD・銀行)剰余金の見通し

	1,840	2,800
銀行合算・健全化計画 当期利益1,840		+960
期初公表予想2,050	+210	+750
期初予想比、中間期の上ブレ分		+640
下期への経費支払時期のズレ等		△50
下期の与信費用下ブレ見込等		+160
銀行合算・年間当期純利益見込2,800		
HD単体下ブレ見込(優先出資証券償還影響ほか)		△150
合算剰余金の上ブレ見込		+810

自己資本比率の状況

(単位:億円)

	17年3月末	17年9月末〔速報値〕	
	①	②	②-①
HD連結・Tier I (a)	11,928	12,396	+ 467
資本金・資本剰余金	5,906	5,906	—
うち優先株式	25,378	25,378	0
利益剰余金	3,648	5,401	+ 1,753
その他基本的項目	2,373	1,087	1,285
うち優先出資証券	2,642	1,301	1,340
【参考】繰延税金資産(b)	455	59	396
HD連結・Tier II	10,214	10,855	+ 641
有価証券含み益の45%相当額	第二(国内)基準の為、算入しておりません		
土地再評価差額金の45%相当額*1	490	482	7
一般貸倒引当金*2	1,413	1,418	+ 4
劣後債務	8,310	8,955	+ 644
うち公的資金	3,000	※ 2,000	1,000
HD連結・控除項目	108	109	0
HD連結・BIS自己資本額	22,034	23,142	+ 1,108
HD連結・リスクアセット	226,140	226,880	+ 739
HD連結・自己資本比率〔速報値〕	9.74%	10.20%	+ 0.46%
Tier I 比率	5.27%	5.46%	+ 0.19%
繰延税金資産比率(b)÷(a)	3.81%	0.47%	3.33%

※ 10月3日に1,000億円を期限前返済し、現在残高は1,000億円

*1 土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額

*2 当社グループは第二基準(国内基準)の為、リスクアセットの0.625%が上乗

	りそな 《連結》	埼玉りそな 〈単体〉	近畿大阪 《連結》	奈良 〈単体〉	りそな信託 〈単体〉
自己資本比率〔速報値〕	9.15%	8.38%	8.52%	6.42%	180.43%
17年3月末比	+ 0.32%	+ 0.09%	+ 0.37%	0.05%	+ 52.49%
BIS自己資本額	16,600	3,669	1,689	65	287
うちTier I	9,475	2,078	1,165	52	287
繰延税金資産比率※	0.37%	—	3.50%	—	0.76%
繰延税金資産	35	—	40	—	2

※貸借対照表の資産の部に計上される繰延税金資産÷Tier I

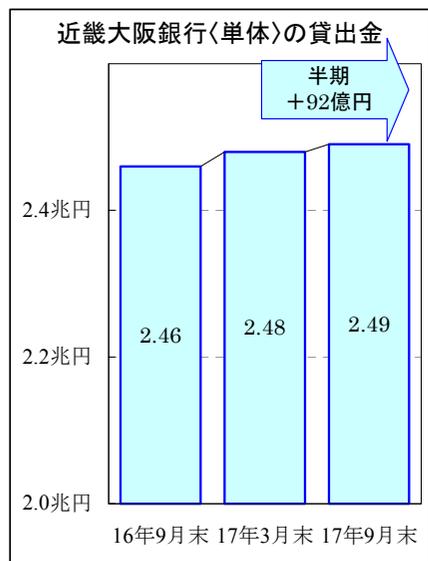
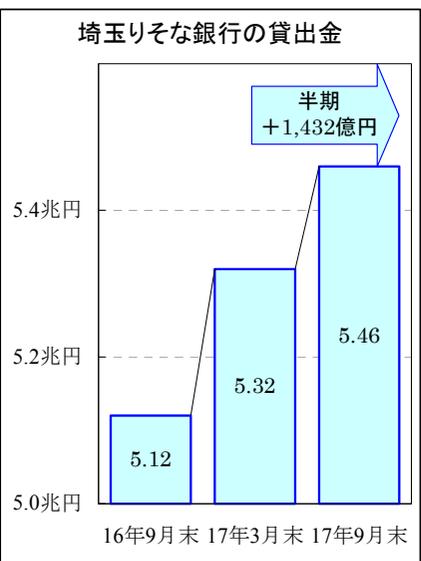
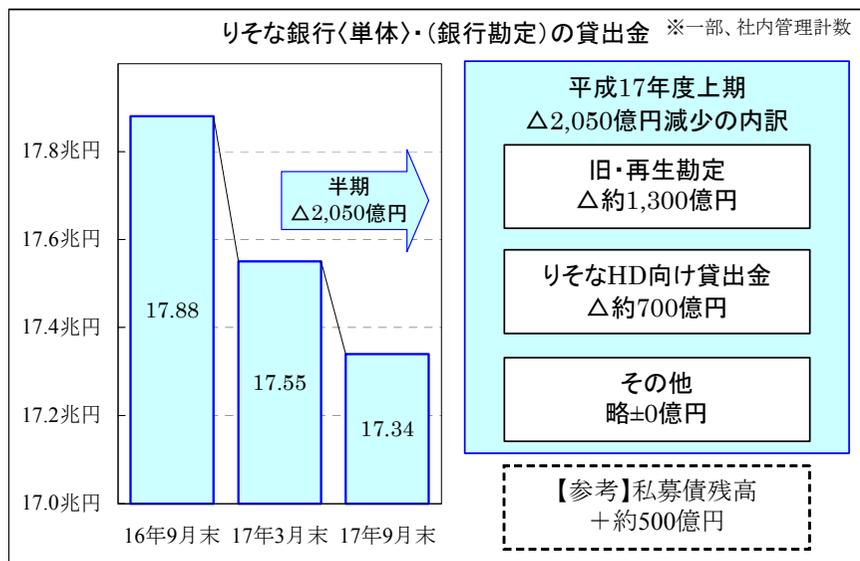
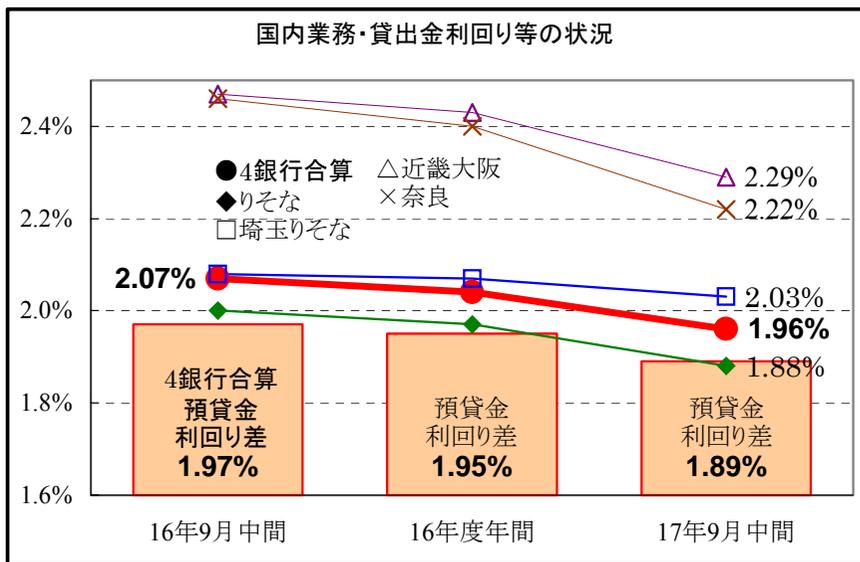
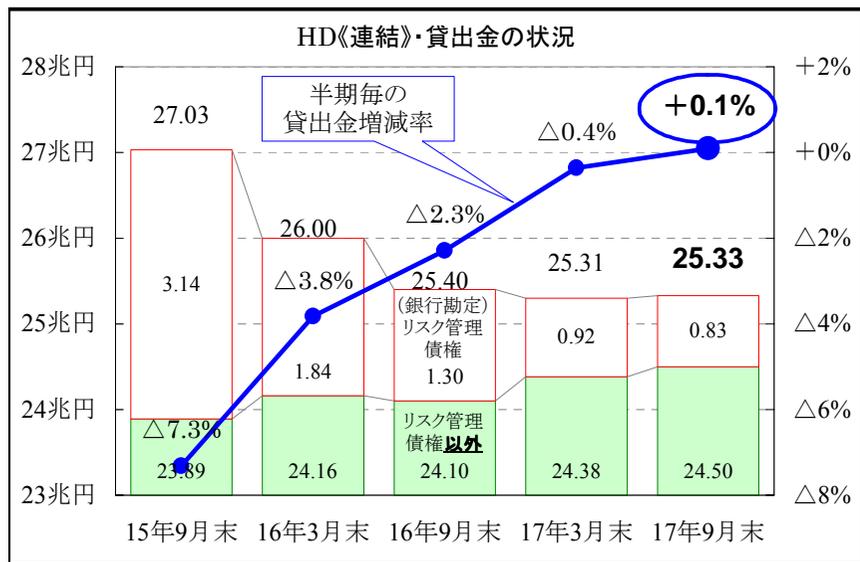
【参考】公的資金の概要

	単価等*1	一斉転換日	15年9月末	17年10月末	増減
普通株式	@52,000	(定め無し)	2,964	2,937	27
優先株式			25,315	25,315	—
乙種第一回	@600,000	H21.4.1	4,080	4,080	—
丙種第一回	@500,000	H27.4.1	600	600	—
戊種第一回	@1,250,000	H21.12.1	3,000	3,000	—
己種第一回	@1,250,000	H26.12.1	1,000	1,000	—
第1種第一回*2	@200,000	(定め無し)	5,500	5,500	—
第2種第一回*2	@200,000	(定め無し)	5,635	5,635	—
第3種第一回*2	@200,000	(定め無し)	5,500	5,500	—
劣後債務(ローン)	当初1,000億円×3本(永久)		3,000	1,000	2,000
単純合計			31,280	29,252	2,027

※1 公的資金注入時の価格を株式併合(1,000株を1株)後の水準に修正

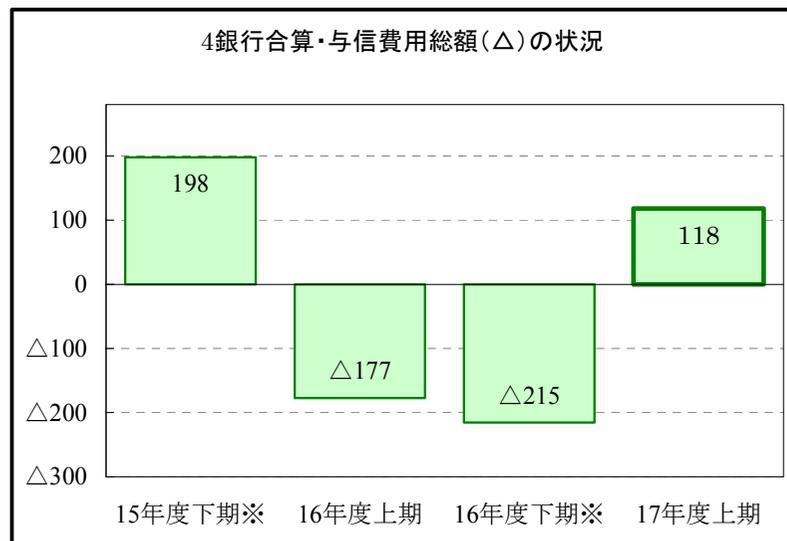
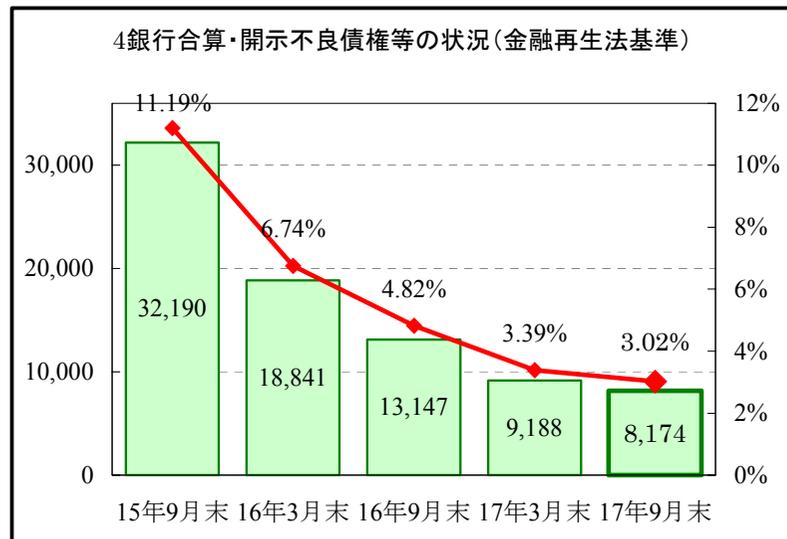
※2 第1種、第2種、第3種優先株式は、株主総会において議決を有する

貸出金の状況



開示不良債権・与信費用等の状況

(単位:億円)



※下期計数=年度計数-上期計数

	4銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良
破産更生債権等	708	390	88	214	15
危険債権	3,657	2,467	480	668	40
要管理債権	3,809	2,955	467	369	16
開示不良債権計	8,174	5,813	1,036	1,252	72
17年3月末比	1,014	554	26	431	2
不良債権比率※	3.02%	3.09%	1.86%	4.90%	4.90%
17年3月末比	0.37%	0.26%	0.09%	1.72%	0.18%

※ 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計(総与信)

	4銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良
与信費用総額(△)	118	98	48	35	7
信託勘定処理	0	0	—	—	—
一般貸倒引当金	27	92	1	122	2
償却他処理額	145	6	46	87	5
① 債務者区分劣化等	486	336	83	61	7
② オフバランス等	368	308	37	21	2
③ 一般貸引など	2	70	1	75	2

- ①. 新規破綻・債務者区分劣化等の損失、及び債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
- ②. 破綻懸念先以下の債権回収、オフバランス化等に伴う引当金取崩・償却債権取立益等を合算
- ③. 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等(一部、目的取崩等を考慮)

※りそな・埼玉りそな銀行において、DCF法の引当対象に「その他要注意先」の大口先を追加

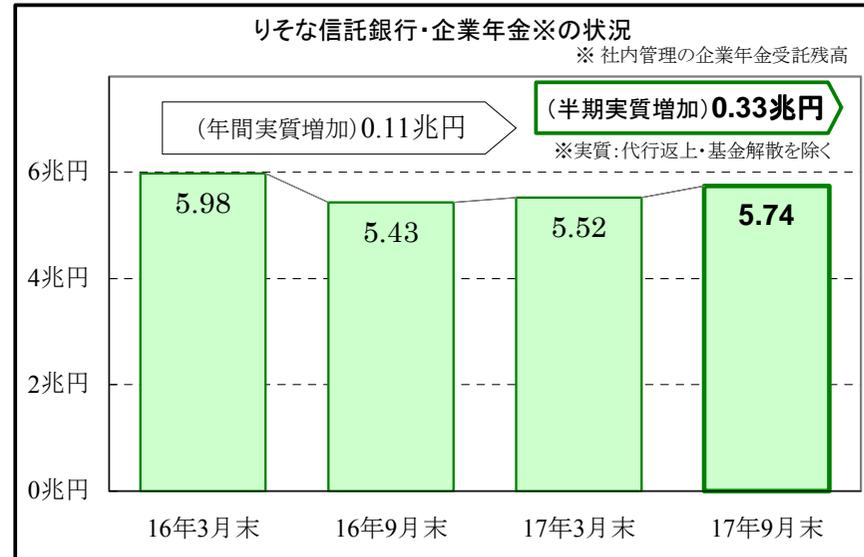
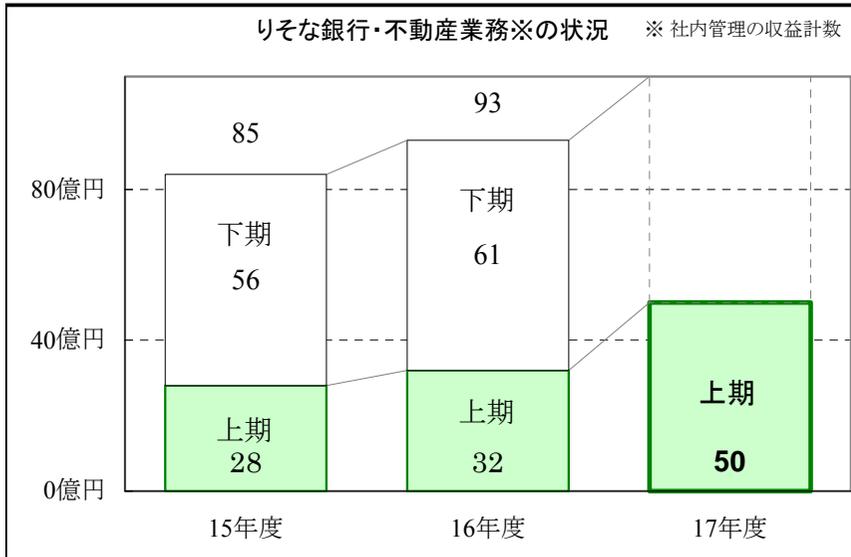
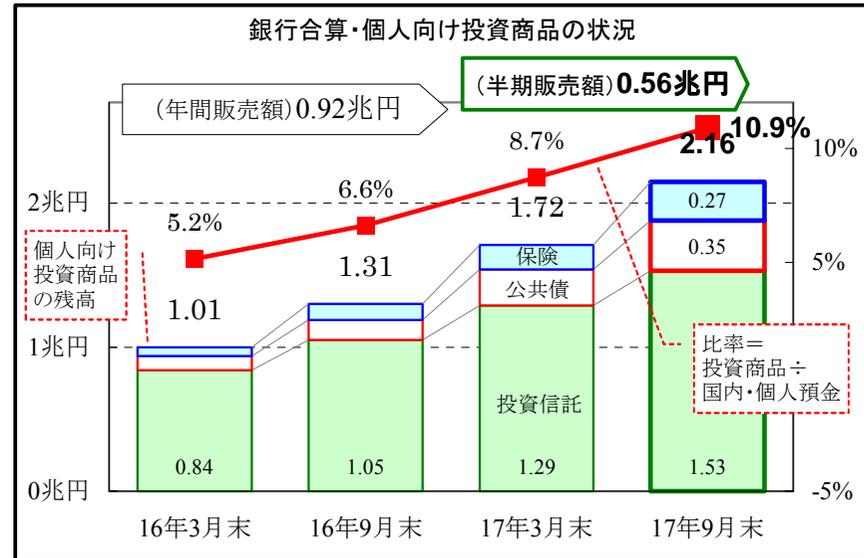
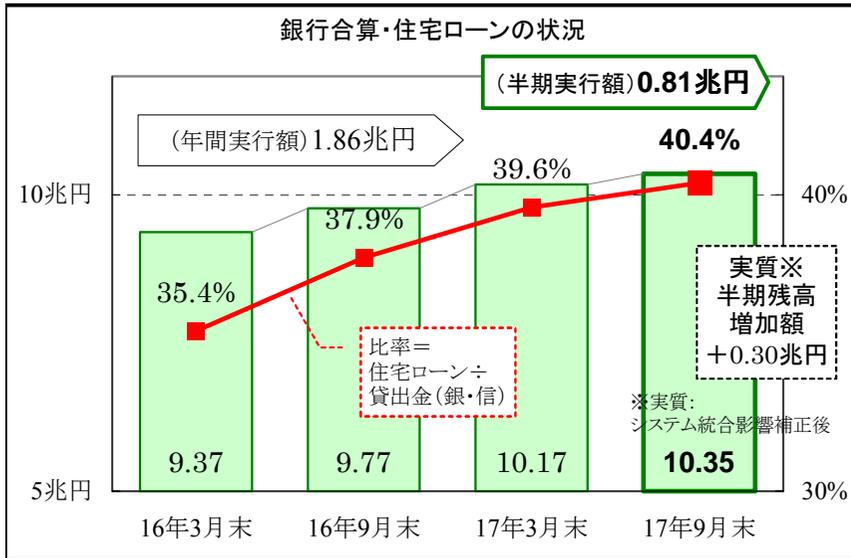
【参考】その他要注意先の引当率 ※ 引当率=当該引当金÷当該債権残高

	4銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良
引当率※	5.82%	6.68%	3.40%	3.87%	3.07%
17年3月末比	+1.04%	+1.07%	+1.05%	+0.84%	+1.95%
債権残高	15,781	11,282	1,981	2,401	116

(銀・信)

(引当率の詳細等は説明資料P12参照)

強みを活かすビジネス分野



平成18年3月期の業績予想

(単位:億円)

※17年5月公表

	HD《連結》		
	(中間期実績)	〔年間予想〕	期初予想※比
連結経常収益	5,067	9,300	200
連結経常利益	1,798	2,700	+ 400
連結当期(中間)純利益	1,743	2,700	+ 700

期末自己資本比率見込

9%台半ば

※17年5月公表

(単位:億円)	HD《単体》		
	(中間期実績)	〔年間予想〕	期初予想※比
営業収益	2,228	3,150	50
経常利益	2,133	3,000	—
当期(中間)純利益	2,134	2,850	150

18年3月期末普通配当予想※1、2

(未定)決算短信P39参照

18年3月期末優先配当予想※2

所定の配当

※1. 配当方針については決算短信P4をご覧ください

※2. 配当予想の詳細については決算短信P39～41をご覧ください

※17年5月公表

	銀行合算 【概数】				りそな		埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託
	(中間期実績)	〔年間予想〕	期初予想※比	【健全化計画】	〔年間予想〕	【健全化計画】	〔年間予想〕	〔年間予想〕	〔年間予想〕
業務粗利益	3,433	6,850	+ 120	6,660	4,580	4,490	1,330	680	235
経費(△)	1,642	3,650	90	3,740	2,380	2,440	725	420	110
実勢業務純益	1,790	3,200	+ 200	2,920	2,200	2,050	605	260	125
経常利益	1,659	2,650	+ 380	1,960	1,900	1,315	470	165	125
特別損益	298	400	+ 470	20	300	5	10	75	—
税引“前”当期利益	1,957	3,050	+ 850	1,940	2,200	1,310	480	240	125
税引後当期純利益	1,741	2,800	+ 750	1,840					

(平成17年度より連結納税制度を採用しております)

※奈良銀行は年度内(18年1月)にりそな銀行と合併予定であります

与信費用総額(△)

118

300

410

760

200

580

95

5

期末自己資本比率見込

《連結》

8%台前半

《単体》

8%台前半

《連結》

8%程度

《単体》

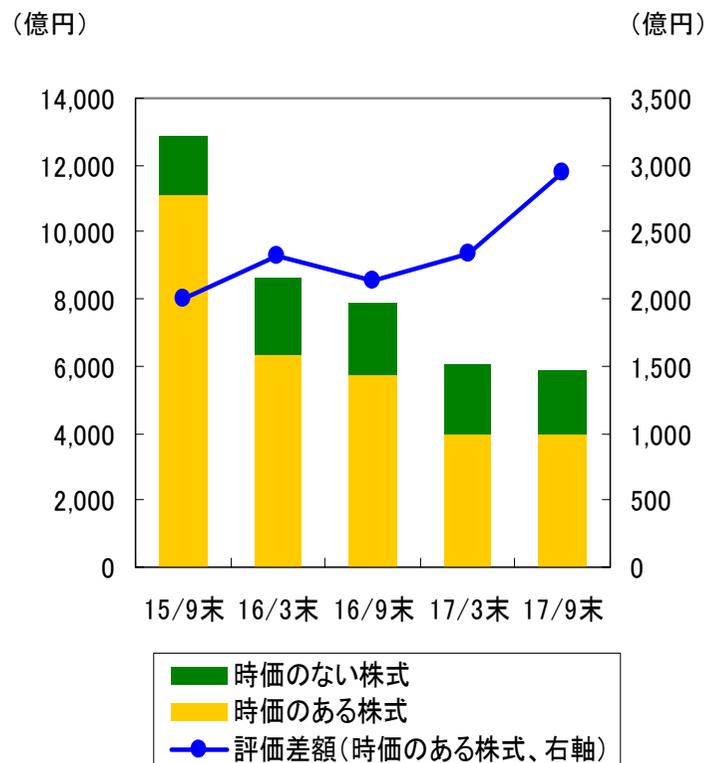
125%程度

ご参考資料

有価証券の状況

- 17年度中間期の株式関係損益(合算ベース)は + 289億円(前年同期比 ▲4億円)
- 同債券関係損益(合算ベース)は、+ 105億円(前年同期比 + 21億円)
- 17/9末時点の時価のあるその他有価証券全体(連結ベース)で+3,206億円(17/3末比+603億円)の含み益

株式残高の推移(その他有価証券、HD連結ベース)



- 株式売切り簿価 17年度中間期(実績): 155億円(合算ベース)

債券残高の推移(HD連結ベース)

	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
国債	36,307	44,957	50,415	39,666	42,981
1年以内	2,512	6,911	13,695	5,397	11,432
1年超5年以内	30,164	31,669	29,971	25,102	18,424
5年超10年以内	2,406	3,018	1,458	1,800	5,324
10年超	1,225	3,358	5,291	7,367	7,801
その他※	12,902	18,713	19,775	22,182	26,683
合計	49,209	63,670	70,191	61,848	69,664

※「その他」には地方債、社債、外国証券等を含む
 ※国債の「10年超」残高が増加傾向にあるのは、変動利付国債によるもの

	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
国債	▲ 254	▲ 37	46	107	▲ 177
その他※	16	131	70	168	442
合計	▲ 238	94	115	275	265

※その他には地方債、社債、外国証券等を含む

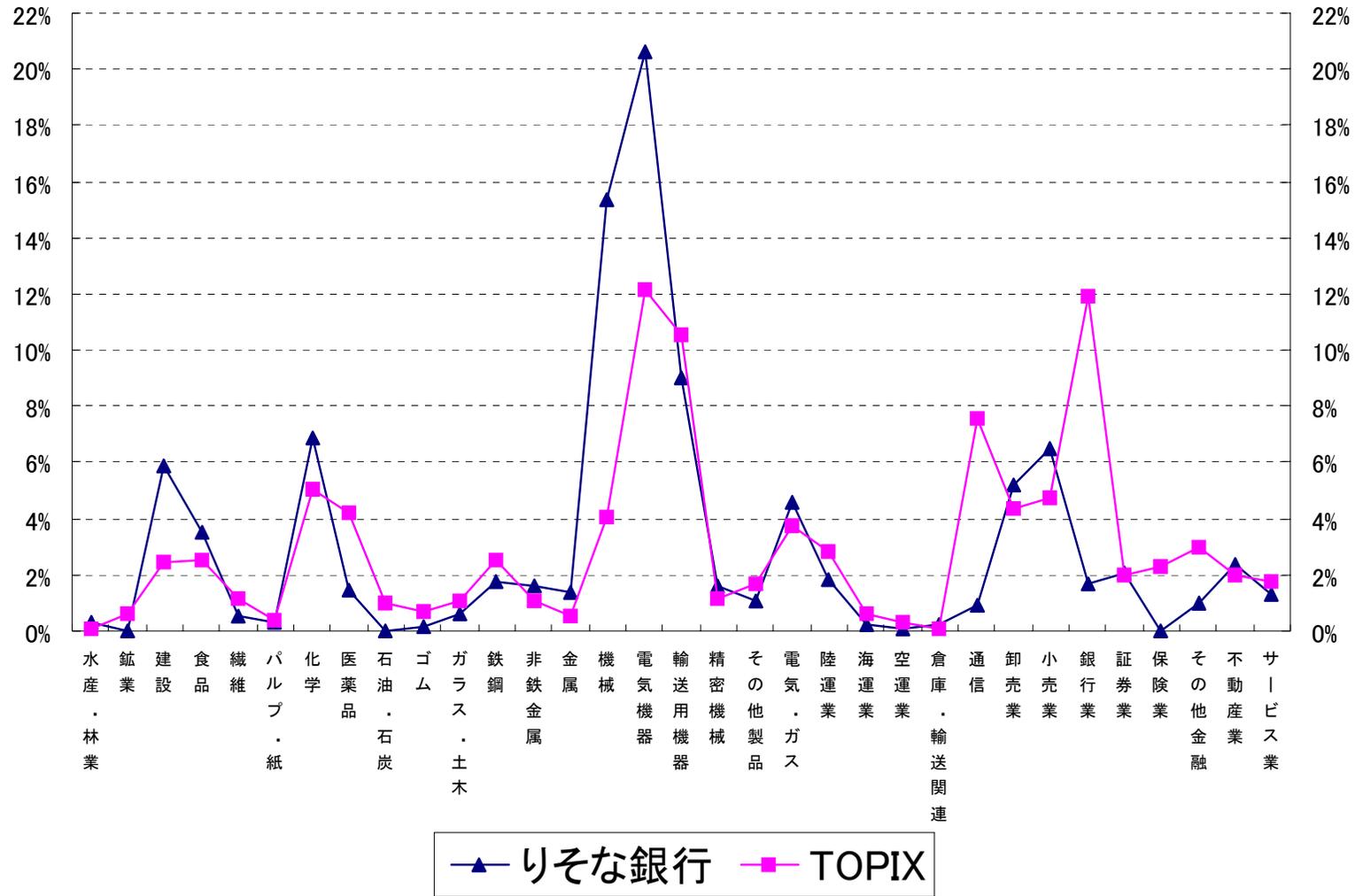
	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
10年国債金利	1.385%	1.440%	1.440%	1.320%	1.475%

	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
グループ	3.4	2.8	2.0	2.1	2.3
りそな銀行	3.5	2.7	1.9	1.9	2.3

	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
グループ	▲ 14.7	▲ 16.5	▲ 12.6	▲ 10.2	▲ 13.8
りそな銀行	▲ 10.6	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 6.5	▲ 8.9

	15/9末	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末
グループ	—	—	—	6,600	6,300

保有株式 業種別ポートフォリオ (17年9月末 リソナ銀行単体)



債務者区分間の遷移状況（りそな銀行）

与信額ベース(17年度上期の遷移状況)

		17年9月末									上方遷移	下方遷移
		正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	その他			
									全額回収/返済	債権譲渡/売却		
17年3月末	正常先	96.8%	1.7%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	—	—	2.1%
	要注意先	17.6%	67.7%	6.9%	1.8%	0.2%	0.1%	5.7%	5.7%	—	17.6%	9.0%
	要管理先	5.6%	5.3%	76.7%	7.9%	0.4%	1.0%	3.1%	3.1%	—	10.9%	9.2%
	破綻懸念先	0.6%	3.8%	0.5%	68.5%	17.0%	0.4%	9.2%	5.0%	3.5%	4.9%	17.4%
	実質破綻先	0.2%	2.1%	0.1%	0.2%	70.1%	14.6%	12.7%	4.4%	7.7%	2.7%	14.6%
	破綻先	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	73.6%	26.1%	0.2%	4.0%	0.4%	—

- 17/3末において各債務者区分に属していた債務者が17/9末においてどの区分に属しているかを表示
- 17/3末時点の与信額をベースに算出
17年度上期中の追加与信、部分回収、償却(部分直接償却を含む)等は反映せず
- 17/9末の「その他」は17年度上期中の全額回収・返済、最終処理(債権譲渡・売却等)などでバランスシートから切離されたもの

オフバランス化の実績(4行合算)

- 17年度上期の新規発生額は1,192億円
- 17年度上期のオフバランス化実績▲1,817億円により、破綻懸念先以下のオフバランス化対象債権残高は▲625億円減少

(単位:億円)	17/上期 (17年9月末)	16/下期 (17年3月末)	16/上期 (16年9月末)
オフバラ対象債権残高	4,365	4,990	7,934
オフバラ措置済残高	702	819	1,255
ネット半期増減	▲625	▲2,943	▲2,092
半期中新規発生	+1,192	+1,569	+2,384
半期中オフバラ実績	▲1,817	▲4,513	▲4,476
清算型処理	△859	△1,233	△1,061
再建型処理(含む改善)	△94	△914	△283
債権流動化	△875	△2,917	△2,521
直接償却	1,323	2,615	1,682
回収・返済等	△948	△1,525	△1,354
業況改善	△363	△536	△937

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにリソナグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
